

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月5日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【作業許可書の期限切れについて】</p> <p>11月18日に発見された「G3タンクエリア作業許可書の作業期間延長申請漏れについて」※を受けて、福島第一原子力発電所で実施中の全ての作業について、作業許可書の管理状況を確認したところ、当該不適合以外にも作業許可書の作業期間が切れている件名があることを確認した。</p> <p>今回、新たに確認された件名については、以下の対応を速やかに実施するとともに、人身安全及び設備安全上の問題がないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業が継続中の件名については作業許可書の作業期間を延長。 ・作業が完了済の件名については作業許可書の完了処理を実施。 <p>今後、原因分析及び対策検討予定。</p> <p>※2019. 11. 25 ホームページ上にて公表済(番号5)</p>	G II	12月2日
2	<p>【G4南エリアタンク設置工事における左手小指の挟まれについて】</p> <p>工事エリアに搬入したタンク部材の荷下ろしのために、トレーラのあおり支柱部を2人で外していたところ、一方の作業者が重さに耐えきれず手を離したため、他方の作業者の左手小指が荷台と支柱の間に挟まれ負傷。</p> <p>救急医療室にて診断の結果、小指裂創と診断され処置後、帰宅。</p>	G III	12月2日
3	<p>【5号機補機冷却海水系配管内面の塗装剥離及び浮き上がりについて】</p> <p>5号機補機冷却海水系配管点検において、配管内面の外観目視点検を実施したところ、一部に塗装(タールエポキシライニング)剥離及び浮き上がりを確認。</p> <p>なお、当該箇所の母材部については浸食等は認められず健全な状態であることを確認。</p> <p>今後、補修塗装を実施予定。</p>	G III	11月29日